



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 ダイコク電機株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 雅勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 丹羽 時重

TEL 052-581-7111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,318	49.3	3,904	563.7	3,892	472.0	1,940	—
23年3月期第3四半期	26,342	△35.5	588	△86.6	680	△85.2	47	△98.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,961百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 50百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	131.27	—
23年3月期第3四半期	3.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,169	27,390	52.3
23年3月期	49,015	26,020	52.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 27,302百万円 23年3月期 25,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,800	32.8	2,100	827.0	2,100	489.5	700	—	47.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,783,900 株	23年3月期	14,783,900 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	334 株	23年3月期	315 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	14,783,583 株	23年3月期3Q	14,783,640 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1.当四半期連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の大きな影響が残っている状況の中、企業生産が持ち直しているものの、雇用情勢や個人消費は依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、震災後の電力供給不足対応として輪番休業を実施した地域もあり、パチンコホールにおいて集客や稼働の減少などが心配されましたが、5月以降に大きな影響はなく、店休時に小規模な設備投資を行う動きも見られ、パチンコ遊技機から好調なパチスロ遊技機への入替が引続き行われました。その一方で、8月より警察庁生活安全保安課が発出した「広告・宣伝規制の運用方針の見直し」が施行され、店舗営業においてはイベント実施や情報公開について慎重な動きとなりました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチスロ演出に有効な情報公開機器「BIGMO」を中心に、呼び出しランプ「IL-AW」、システムの中核となるホールコンピューティングシステム「CII」の提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、開発業務の効率向上と品質を追求し、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高393億18百万円（前年同期比49.3%増）、営業利益39億4百万円（同563.7%増）、経常利益38億92百万円（同472.0%増）、四半期純利益19億40百万円（同18億92百万円増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、MIRAGATEネットワークを活用したホール経営サービス「CIIスタンダード」の拡大を推進し、パチスロ遊技機の大型機種への導入に合わせて情報公開機器「BIGMO」が高く評価され、ホールコンピューティングシステム「CII」の導入にも繋がりました。

この結果、当事業の売上高は210億54百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は45億6百万円（同39.5%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、パチンコ遊技機市場は、震災による半導体供給への影響があり販売台数が減少いたしました。当事業が携わった機種が高い評価を受け、販売台数が好調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は175億64百万円（前年同期比201.5%増）、セグメント利益は10億87百万円（前年同期セグメント損失13億57百万円）となりました。

(アミューズメントコンテンツ事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、コンシューマゲームにおいて、前連結会計年度に受託しました大型案件を中心に開発を行いました。

この結果、当事業の売上高は7億8百万円（前年同期比39.3%減）、セグメント損失は2億8百万円（前年同期セグメント利益52百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ31億54百万円増加の521億69百万円となりました。その主な要因は、前連結会計年度において販売予定の製品等が当第3四半期連結累計期間において実現したことによりたな卸資産は減少しましたが、前第3四半期連結累計期間に比べ当第3四半期連結累計期間の売り上げが好調に推移したことにより、現金及び預金と売上債権が増加したことと、新社屋の建設により有形固定資産が増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ17億84百万円増加の247億79百万円となりました。その主な要因は当第3四半期連結累計期間の売上が好調に推移したことに伴う仕入債務と未払法人税等が増加したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上があったことにより利益剰余金は増加し、前連結会計年度末に比べ13億69百万円増加の273億90百万円となり、自己資本比率は52.3%（前連結会計年度末比0.6ポイント下落）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月10日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	43,000	700	800	100	6.76円
今回修正予想(B)	45,800	2,100	2,100	700	47.35円
増減額(B-A)	2,800	1,400	1,300	600	—
増減率(%)	6.5	200.0	162.5	600.0	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	34,483	226	356	△342	△23.14円

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,080,578	17,519,953
受取手形及び売掛金	8,341,400	10,734,723
有価証券	40,000	10,000
商品及び製品	3,995,074	2,704,059
仕掛品	948,938	213,400
原材料及び貯蔵品	2,645,029	2,041,519
繰延税金資産	109,726	33,531
その他	1,419,409	1,017,601
貸倒引当金	△30,874	△19,342
流動資産合計	31,549,283	34,255,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,842,281	4,480,753
土地	4,389,713	4,297,515
その他(純額)	2,589,136	1,464,601
有形固定資産合計	9,821,132	10,242,869
無形固定資産		
ソフトウェア	1,746,335	1,584,559
その他	138,422	137,331
無形固定資産合計	1,884,757	1,721,890
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,343,117	2,589,943
投資不動産(純額)	891,981	882,267
長期預金	600,000	600,000
その他	2,138,629	2,066,325
貸倒引当金	△213,291	△189,070
投資その他の資産合計	5,760,436	5,949,465
固定資産合計	17,466,326	17,914,226
資産合計	49,015,609	52,169,673

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,196,475	12,212,111
短期借入金	5,325,000	5,825,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	753,854	1,194,315
役員賞与引当金	43,328	194,759
その他	3,004,789	2,802,303
流動負債合計	20,723,447	22,628,488
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,400,000
退職給付引当金	128,978	171,328
役員退職慰労引当金	344,546	345,561
その他	198,129	234,034
固定負債合計	2,271,655	2,150,923
負債合計	22,995,103	24,779,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	24,596,191	25,945,501
自己株式	△628	△642
株主資本合計	25,949,571	27,298,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,013	3,528
その他の包括利益累計額合計	4,013	3,528
少数株主持分	66,921	87,866
純資産合計	26,020,506	27,390,261
負債純資産合計	49,015,609	52,169,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	26,342,247	39,318,334
売上原価	17,322,297	25,781,872
売上総利益	9,019,950	13,536,462
延払販売未実現利益戻入	11,365	5,176
延払販売未実現利益控除	5,552	—
差引売上総利益	9,025,762	13,541,638
販売費及び一般管理費	8,437,390	9,636,643
営業利益	588,371	3,904,995
営業外収益		
受取利息	18,429	8,454
受取配当金	5,765	5,779
不動産賃貸料	60,070	54,234
その他	93,543	98,433
営業外収益合計	177,808	166,901
営業外費用		
支払利息	34,743	37,203
支払手数料	—	102,000
その他	50,929	40,020
営業外費用合計	85,673	179,224
経常利益	680,506	3,892,672
特別利益		
固定資産売却益	4,700	2,889
その他	1,206	161
特別利益合計	5,907	3,051
特別損失		
固定資産売却損	8,411	9,759
固定資産除却損	24,320	97,277
災害による損失	26,234	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,615	—
その他	1,260	—
特別損失合計	89,841	107,037
税金等調整前四半期純利益	596,572	3,788,686
法人税、住民税及び事業税	954,602	1,814,275
法人税等調整額	△408,007	12,812
法人税等合計	546,595	1,827,088
少数株主損益調整前四半期純利益	49,977	1,961,598
少数株主利益	2,021	20,944
四半期純利益	47,955	1,940,653

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,977	1,961,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	243	△485
その他の包括利益合計	243	△485
四半期包括利益	50,221	1,961,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,199	1,940,168
少数株主に係る四半期包括利益	2,021	20,944

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメント コンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,362,889	5,821,407	1,157,950	26,342,247	—	26,342,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,283	4,832	10,200	40,315	△40,315	—
計	19,388,172	5,826,239	1,168,150	26,382,563	△40,315	26,342,247
セグメント利益又は損失 (△)	3,230,177	△1,357,694	52,188	1,924,671	△1,336,299	588,371

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,336,299千円には、セグメント間取引消去△5,050千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,331,249千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメント コンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,053,031	17,564,546	700,755	39,318,334	—	39,318,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,667	432	8,196	10,295	△10,295	—
計	21,054,699	17,564,979	708,951	39,328,630	△10,295	39,318,334
セグメント利益又は損失 (△)	4,506,302	1,087,812	△208,418	5,385,695	△1,480,700	3,904,995

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,480,700千円には、セグメント間取引消去8,315千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,489,016千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。